

⑤ 貞元新貞釋教目錄卷第十七。此事は逸早く高楠博士が注意せられて、一八九六年の通報誌上で論述されたことは周知の事實である。

⑥ Hastings, *Encyclopedia of Religion and Ethics* Vol. VI, p. 253.
Peake, *Commentary on the Bible*, p. 122. etc.

⑦ Karlgren, *Analytic Dictionary of Chinese*. Introduction, pp. 25-26 参照

⑧ 例へば *yas'ada* を邪舎陀で寫せる如きは (Eitel, *Handbook for the Student of Chinese Buddhism*) その一例である。

⑨ 道教が唐初から朝廷の保護と一般社會の信仰とによつて可なりの勢力を有して居つたことは更めていふまでもないが、此の殘卷には道教との間に關係を求めねば説明し得ないやうな點は殆んど無いやうである。たゞ天尊といふ名稱の如きは道教に用ひる語から取つて來たものとも考へられよう。

⑩ 此の一句の意味は此の儘では解釋し難いやうに思う。多分誤脫が存するのであらう。

⑪ 「孝父母并恭給」の六字は衍か、然らざれば恭給の下に脫字が存するものと見るべきである。文の冒頭としては「若所有衆生」とあるべきであり、さうして直ぐ其の次に「孝養父母、恭承……」の文字があるのだから、多分初の「孝父母并恭給」は削除せらるべき文字がそのままに残つたに外ならぬであらう。

⑫ Hastings, *Encyclopedia of Religion and Ethics*

⑬ Ricci の業績は一六一五年 (萬曆四十三年) Trigault によりて編纂せられた有名なる *De christianâ expeditione apua Sinas susceptâ* 中に詳細に記されて居る。Remusat の *Nouveaux mélanges asiatiques*, p. 215 に據ると此の書は Ricci

自身の記録を基にして編纂したものであるとのことだ。かゝる譯で彼の支那に於る活動の有様は彼以後の教士等について知らるゝよりも却りて明確に傳へられてゐる。萬曆二十八年 Ricci が神宗に奉つた表文を始め、支那で知られてゐる事實が簡略ながら正教奉褒中に收められてゐるのは周知の事である。